



小学部4年生が学校に泊まりました



中野特別支援学校の宿泊行事は小学部4年生から始まります。年度によって場所が変わることはありますが、4年生が校内で1泊、5・6年生は都内で1泊、中1は千葉県で1泊、中2は山梨県で2泊、中3は長野県で2泊、高1は静岡県で2泊、高2は東北で3泊します。この一連の宿泊行事の最初の一步である小4の校内宿泊が6月14日(木)にありました。小学部4年生が、校内の生活訓練室や浴室を使用して宿泊しました。事前学習ではお風呂に入って体を洗う練習や布団を敷く練習をしました。当日は宿泊をとっても楽しみにしていた人や、少し不安な気持ちの人など様々でしたが、夕食のレストランでの夕食やそのあとの花火は、みんな楽しそうでした。学校行事で家庭を離れて泊まるのは初めてなので、少し不安な人もいたと思いますが、消灯して1時間後に大半の人が眠ることができました。(目を覚ました人はいたようです) 家庭を離れて泊まれたということは、本人の大きな自信になります。普段から育てている自分のことは自分でしようとする気持ちや、友達と協力しようとする態度が行事を通して強まります。前の週にあった中2移動教室では、布団敷きやシーツかけがとても上手な生徒がいましたし、配膳やカレー作りで友達と協力する様子がしばしば見られました。普段のいろいろな学習の中でつけてきた力が行事の中で発揮されてそれが積み重なって自信に結びついていきます。(副校長 田中)